

令和7年第3回おいらせ町議会定例会

一般質問通告書（6人）

順位	議席番号	議員氏名	質問方式
1席	10番	日野口 和 子 議員	一問一答方式
2席	4番	沢 尾 宏 之 議員	一問一答方式
3席	2番	大 浦 陽 子 議員	一問一答方式
4席	3番	小笠原 伸 也 議員	一問一答方式
5席	11番	平 野 敏 彦 議員	一問一答方式
6席	14番	西 館 芳 信 議員	一問一答方式

順位	1 席	議員 氏名	10番 日野口 和子	質問方式	一問一答方式
1. 鶺久保山地区（鶺久保・三川目2号幹線付近）の道路整備をする考えは （1）鶺久保山地区（鶺久保・三川目2号幹線付近）の森林伐採が進み、現在、外人住宅がかなり建てられ、車の往来がさらに激しく、ほこりまみれで、この暑さの中、窓も戸も開けられない。大型車が通る時はいままでに感じることもなかった振動に不安を感じています。まるで地震の時のようだと。この地区住民の同意見です。どうか一日も早い道路の整備を考えて頂きたいと思います。町長の考えをお伺いします。 2. 育児・介護休業法の改正に伴い当町の対応は （1）令和7年4月から、育児・介護休業法が改正されました。事業主には介護離職防止のために雇用環境を整備することがより求められるようになると思います。そこで介護離職を避ける方法を見つけることができるのではないかと考えておりますが、行政側の考えをお伺いします。					

順位	2 席	議員 氏名	4 番 沢尾 宏之	質問方式	一問一答方式
1. 町民の健康管理について (1) 定期接種について 予防接種とは、病原体、毒素を事前に体内に入れ免疫力を高め病気を予防し重症化を防ぐ目的とし、定期接種は、予防接種のうち予防接種法に基づき市町村が主体となって実施する予防接種である。 定期接種はA類疾病とB類疾病に区分されるが、B類疾病について伺います。 ア 带状疱疹ワクチン接種について (ア) 今年度から開始される带状疱疹ワクチンにおいては65歳を迎える方となっておりますが、経過措置として年度内に70歳から5歳刻みで一生に一度接種対象となっております。今年度の定期接種の対象となる町民数内訳を伺います。 (イ) 带状疱疹ワクチンは2種類生ワクチンと組換えワクチンがあるが、予算の積算根拠を伺います。 イ 肺炎球菌ワクチン、インフルエンザワクチン及び新型コロナワクチンについて (ア) 定期接種（高齢者）の令和7年度接種予定者数は。 (イ) 令和6年度の接種者は予定数の何割だったのか。 (2) 接種年齢の引き下げについて 带状疱疹は、50歳を過ぎると発症確率が増加するとされる疾病です。 町民の苦痛を和らげるため、予算の執行状況を見極めつつも、各種予防接種への残予算を活用して町独自の政策として带状疱疹ワクチンの接種対象年齢を5歳引下げ60歳からの接種を検討する必要があると思うがいかがでしょうか。 2. 交通安全について 以前交通標識の破損があった際には早急に対応下さり町民の方も安心されているようです。 (1) 標識の更新について 一部町道、農道においては、劣化が激しく識別不能な標識が浜道地区、豊栄地区及び阿光坊聖福寺下り坂付近に確認された。さらに浜道地区に設置されている標識によっては進行方向車線と逆方向に向いている事が確認された。町民の交通安全を守るためにも対策が必要と思うがいかがでしょうか。					

順位	2 席	議員 氏名	4 番 沢尾 宏之	質問方式	一問一答方式
----	-----	----------	-----------	------	--------

(2) 農道の交通規制について

豊原方面から豊栄を經由し浜街道につながる農道において、大型車の通行を「ご遠慮下さい」と表示された看板が設置されているが昨今大型車の通行が多く、看板の設置する効果が無いように感じる。看板の設置目的を再考し撤去するなり規制を強化するなり方策を立てる必要があると思うがいかがでしょうか。

(3) 交通量の増加について

浜道地区の大型車の通行が多く、昨今も増加している傾向にあるように感じられるが、歩道が十分に整備されておらず危険な状態が確認された。

歩道の整備が中断されている箇所から農村公園先の住宅地までの歩道を整備し、住民の安全を確保することが必要と思うがいかがでしょうか。

3. SDG sについて

(1) SDG s（持続可能な開発目標）について

取り組みは行政、教育機関、企業、個人等でそれぞれ実施方針を策定し推進しているようです。

当町の取り組みの現状はどのようになっていますか、また、今後のプランについて伺いたい。

(2) 個人からできる対策のリサイクルについて

学校等ではリサイクル運動が広がりつつありますが、ごみ集積場を見るとまだまだ分別が甘いようにみえます。また、道路上には、ポイ捨てされた空き缶、ペットボトルが散見され、また、レジ袋ごと放棄されている状況があります。マナー向上の指導も広報誌等で周知徹底を図ることも必要と思うがいかがでしょうか。

(3) リサイクル（古紙）について

身近で簡単にできるリサイクル運動として紙媒体の再利用が推進されています。地区の要所、スーパーマーケットにはリサイクルボックスが設置され運動が推進され、良好な状態にある。しかしながら、当町の行政機関（役場等）は、リサイクルへの取り組み姿勢が低い状況にある事が思慮されます。大量の古紙が十和田の焼却炉に搬入され焼却されています。今後改善する事が必要と思うがいかがでしょうか。個人情報等を要するものは裁断機にかけてリサイクルする事で燃料費の削減、CO2 の削減へ僅かでも貢献できるのではないのでしょうか。行政が率先し見本を示すことが肝要と思うがいかがでしょうか。

順位	3席	議員 氏名	2番 大浦 陽子	質問方式	一問一答方式
----	----	----------	----------	------	--------

1. 子育て支援の現状と今後の支援について

(1) 給食費無償化事業について

- ア. 昨年10月から県の事業となった給食費無償化ですが、町独自の事業として、給食費無償化事業が開始になったのはいつからか、また給食費無償化によって、廃止された支援または事業はあるのか、お伺いします。
- イ. 県の事業として移行されたことで、子育て世帯の町民は今後どのような支援を受けられるのか、行政に期待をしていますが、今後給食費無償化に代わる、当町の新たな事業の計画はあるのか、お伺いします。
- ウ. 給食費無償化によって保護者の経済的負担が軽減し、多少は出産・子育ての不安が減少していると感じる反面、児童生徒からは、給食が少なくおなかが空く、や給食のメニューに掲載してあるが、小学生（自分たち）には提供されないメニューがあるなど不満もあるようです。「おいらせ町こども計画」でも放課後児童クラブのこどもの意見聴取でも、「給食が豪華になるといい」と、給食無償化事業は、生徒の満足度は得られてないと感じます。そこで、給食の残菜はどのくらいあるのか、また給食の見直しや検討会議などは定期的に行われているのか。行われているのであれば、どのような方でどのような内容なのかもあわせて、お伺いします。

(2) 児童クラブ利用について

5小学校区にある全ての放課後児童クラブを利用している生徒は何名いらっしゃるのか。おやつを提供している児童クラブもあるなど、サービスに違いがあるようですが、利用料金にも違いがあるのか、お伺いします。

(3) インフルエンザ予防接種の助成について

当町は合計特殊出生率 1.64 と、全国平均 1.20、県 1.23 と平均より上回っていて、県内でも上位に位置しています。10月下旬から徐々にインフルエンザ予防接種時期が始まります。となりの三沢市は合計特殊出生率 1.78 と第1位で、2回接種費用を全額助成していると聞きました。接種を行う病院によっても金額に違いはありますが、こどもの多い世帯はインフルエンザ予防接種代が高額になるため、接種を躊躇し行わないご家庭もあります。当町で2回接種対象となる子どもは何人いるのか、現在の助成額はいくらなのか、2回接種を助成した際の試算はいくらになるのか、助成額の見直しのお考えはないのかも、お伺いします。

順位	4 席	議員 氏名	3 番 小笠原 伸也	質問方式	一問一答方式
1. 橋梁長寿命化について 当町が管理する高齢化橋梁に対応するため「おいらせ町橋梁長寿命化修繕計画～10 箇年計画～」令和5年3月（令和6年10月改定）を策定している。 そのことを踏まえ、橋梁の修繕計画について質問する。 (1)「おいらせ町橋梁長寿命化修繕計画の背景について ア 「おいらせ町橋梁長寿命化修繕計画」の1 頁に「・・・従来の「悪くなったら補修する」事後対策方式から、「計画的に手を入れて長持ちさせる」予防保全型方式へと維持管理方法の転換を図る・・・」とある。おいらせ町が管理する橋梁6 橋すべてに予防保全型方式を適応しているのか伺う。 イ 「おいらせ町橋梁長寿命化修繕計画」の22 頁に「・・・令和10 年度までに町が管理する2 橋で国土交通省の「新技術」を活用して従来よりも修繕費約5 割のコスト削減を図ります。」とある。2 橋とはどの橋のことか橋梁名を伺う。 (2) 橋梁点検について ア 「おいらせ町橋梁長寿命化修繕計画」25 頁の橋梁点検結果によると、「Ⅲ：早期措置段階」の橋に「神明橋」（阿光坊線）と「開明橋」（三田・秋堂線）がある。一番古い「開明橋」よりも3 番目に古い「神明橋」を先に修繕工事した理由を伺う。 イ 「神明橋」の工事は令和8 年度までの計画である。その後令和9 年度からのおいらせ町橋梁修繕工事予定があるのか伺う。 ウ 「神明橋」の修繕工事は、何年前に決定していたのか伺う。 (3) 橋梁の交通量調査について ア 6 月に「開明橋」の交通量調査を実施している。車両や人、自転車の交通量を伺う。また、橋の修繕工事計画にどのように関連するのか伺う。 イ 「神明橋」の修繕工事時期にも実施した交通量を伺う。また、おいらせ町管理の橋の交通量を伺う。 ウ おいらせ町が管理する橋梁6 橋すべての橋梁点検を来年実施予定としている。4 段階中Ⅳの「緊急措置段階」の点検結果が出た場合の対応を伺う。また、どうしてこれまで予防保全型方式の維持管理をコツコツ実行してこなかったのか理由を伺う。 2. 町民への影響について					

令和7年第3回定例会 一般質問

順位	4 席	議員 氏名	3 番 小笠原 伸也	質問方式	一問一答方式
(1) 青い森鉄道下田駅利用者や百石高校通学生、農業分野への影響について ア 「開明橋」の通行者は、下田駅を利用したり、百石高校へ通学したり、三田地区の農地を管理する農業従事者の方が大勢通行している。今後も市民に不便を強いることが無いように当町としてどのような対策をとるのか伺う。 イ 4段階中Ⅳの「緊急措置段階」の点検結果が出た場合、どのような措置をとるのか。また、「開明橋」に関する住民説明会を実施する予定があるのかどうか伺う。					

順位	5 席	議員 氏名	1 1 番 平野 敏彦	質問方式	一問一答方式
----	-----	----------	-------------	------	--------

1. 加齢性難聴の早期発見について

年を取るにつれて聞こえにくくなる「加齢性難聴」の早期発見は、大変重視されるようになりました。又、難聴が認知症のリスクを高めることが近年明らかになり、早期発見・早期対応により認知症予防・介護予防につながることから町の取り組みと対応について、お伺いいたします。

- (1) 「加齢性難聴」と「認知症」との関係について、町民に周知と理解を深めるための取り組みと、講習会等の開催をする考えはないか、お伺いいたします。
- (2) 町民健診の基本健診の項目に、聴力検査を加えてはどうか、又、人間ドッグの健診項目に同様の取り組みをする考えはないか、お伺いいたします。
- (3) 聴力機能の低下により生活の中で、聞き取りづらさを感じる人に補聴器の利用が呼びかけられております。補聴器をつけることで、うつや不安の発生率が14%減少、転倒の発生率は13%減少したとあります。又、認知機能が衰えるリスクが19%低いなど有効性を示す報告が増えているとあります。閉じこもりを防ぎ、社会参加や交流を支援、健康寿命の延伸を図るためにも「高齢者等補聴器」購入助成制度を設ける考えはないか、お伺いいたします。

2. 働き方改革の取り組みについて

- (1) 町の働き方改革の取り組み内容と、その効果についてお伺いいたします。
- (2) 窓口業務に係る、課ごとの時間外労働の実態と、その取り組み内容についてお伺いいたします。
- (3) 町で実施中の、住民票の交付や納税など窓口を訪れなくても手続きが可能なおことから、窓口業務の受付時間 9 時～16 時への短縮について、試験的に実施する考えはないか、お伺いいたします。
- (4) 働き方改革の選択肢を増やす「週休 3 日制」の試験的運用を岩手県久慈市で取組をしております。当町でも「週休 3 日制」の実施についての考えはないか、お伺いいたします。

3. 部活動の地域移行計画について

順位	5 席	議員 氏名	1 1 番 平野 敏彦	質問方式	一問一答方式
公立中学校の部活動を地域のスポーツ団体などに委ねる「地域移行」に関し、有識者会議で提言を取りまとめ、休日は2031年度までに全ての部活動での移行を目指すことを盛り込んだとあります。国の調査によると運動部活動の「地域移行」を推進する計画を既に作成、24年度中に策定予定としたのは51%、39%は検討中、10%は予定なしと回答がありました。 (1) 少子化や教員の働き方改革を背景に、おいらせ町においては、土・日曜のみの地域移行計画の取り組みについて、国の「地域移行」調査への回答内容と、7年度末までの取り組みの状況について、お伺いいたします。 (2) 7月開催の上北郡中体連での、当町の中学校別の種目別成績と、郡内の総合順位の結果について、どのように評価しているのか、お伺いいたします。 (3) 部活動を担当する教員と、校外の指導者の実態について、お伺いいたします。 (4) 地域移行に伴う生徒からの、意識調査の実施について、お伺いいたします。 (5) 今後の部活動の地域移行（8年度以降）についての計画について、お伺いいたします。 4. 米価格高騰による学校給食への影響について (1) 米価格高騰により、副食費等への影響が大きな問題であると思います。栄養価の充足は守られているか、お伺いいたします。 (2) 全ての食品が値上げされ、学校給食の質の維持が大きな課題であります。児童生徒の給食費の見直しをすべきと思いますが、お伺いいたします。					

順位	6席	議員 氏名	14番 西館 芳信	質問方式	一問一答方式
1. 「太陽光発電特区事業」による町内の土地利用と「まちづくり」の推進について 今夏の気温沸騰は改めて、洋の東西、老若男女を問わず、今、この大地に生きている私たちに、「地球環境の破壊」という深刻な憂慮を抱かせ、マスコミやネットでも「パリ協定」や「カーボンニュートラル」等の言葉が氾濫した。加えて今、この子々孫々にわたる火急の課題を国任せにするのではなく、自分たちができるやり方で国の意図するところの一助となり、これを「まちづくり」に繋げて行こうとする自治体の動きが顕著である。 そこで次の2点について町長の見解を問う。 (1) 津波災害警戒区域として指定された沿岸部の土地再生活用対策の推進について 令和3年5月の青森県の「津波浸水想定」(後に津波災害警戒区域に指定)の公表は指定区域の地価評価の下落、公共施設の建設や企業の当該地における一部事業展開の厳しさを現出させる等、沿岸地区の土地事情を大きく変化させ、この結果、今後の「まちづくり」にも大きな影響を与えると思う。「浸水地区」に指定されたことにより、金融機関からの事業資金融資等が、ままならなくなり、太陽光発電施設設置の進出に躊躇する企業に対し、津波被災保険の加入を肩代わりする等の優遇措置を講ずる等の一方で、「太陽光発電特区事業」構想の立案や自らの事業参画、支援等の町の取組みこそ、無生産性で遊休化してしまった沿岸部の土地の再生活用の効果策であり、1自治体として、国が掲げるカーボンニュートラル構想への大きな寄与策でもあると思うが如何か。 (2) 企業による営農型太陽光発電事業の我が町への誘致について 先の東奥日報紙上で、営農型太陽光発電事業に参画する大企業が増えてきており、全国の農地の一時転用許可件数がこの9年間で50倍に達したことが報じられた。 町には(1)で前述した沿岸部の津波災害警戒区域に指定された遊休化土地と併せて、営農型発電事業可能農地の活用策を「特区事業」として捉え、何らかのさらなる発展昇華策を加え、「事業実施企業誘致」の強力推進を検討してもらいたいと思う。 最初に我が町の営農型太陽光発電事業の現状把握分を示し、次に本項目についての実現可能性に言及した町長の見解を問う。					